

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成29年第3回沖縄県議会(定例会)

06月30日(金)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
1	17分	島袋 大(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 自民党沖縄振興調査会での骨太方針について</p> <p>(1) 西普天間住宅地区跡地活用についてどのような話し合いをされたのか。</p> <p>(2) MICE施設についてはどのような話し合いをされたか。</p> <p>2 保育行政について</p> <p>(1) 知事の公約として今年度末に待機児童ゼロを掲げているが可能かどうか。</p> <p>(2) 平成29年度4月の保育所並びに放課後児童クラブの各待機児童数を伺う。</p> <p>(3) 待機児童解消における市町村と県の役割並びに保育士の人材確保の役割はどちらが第一として行うのか伺う。</p> <p>(4) 県として保育士の入職に伴う子供の入園への加点を沖縄県全体で統一することができないのか伺う。</p> <p>(5) 平成25年11月に開所した保育士・保育所総合支援センターの目的である潜在保育士の掘り起こしのこれまでの各年度の認可保育園での採用実績を伺う。</p> <p>(6) 保育全般として保育現場(保育団体は含まない)や市町村担当課からの意見要望が上がっているのか伺う。</p> <p>3 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成29年第3回沖縄県議会(定例会)

06月30日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	山川 典二(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 知事の政治姿勢について

(1) 差しとめ訴訟について

ア 知事は3月25日に埋立承認撤回を必ずやると明言した。今回、撤回ではなくて差しとめ訴訟を提起する理由は何か。また、撤回しないのはなぜか。知事の言う撤回の根拠は何で、いつ撤回するのか。

イ さきの最高裁判決内容は、県に「和解条項」の遵守を義務づけていると思うが知事の見解は。

(2) 安慶田前副知事の辞任について

ア 安慶田氏は、2月20日の文教厚生委員会で、1月21日に「弁護士」を通じて辞任の意を伝えたとしているが、この「弁護士」は誰か。安慶田氏の訴訟代理人の川崎弁護士か。それとも同事務所の天方弁護士か。また、ほかにいるのか。

イ 県の公安委員であり知事部局と近い天方弁護士が代表をされている法律事務所の川崎弁護士が安慶田氏の裁判を担当している。そうすると、事務所内で裁判の内容などが共有され、知事に責任が及ぶことを回避するような対策をすることも可能だと思うがどうか。

ウ 本年5月から安慶田氏の件について知事部局と県教委が合同で第三者委員会を立ち上げている。知事部局側の天方弁護士と川崎弁護士が同じ法律事務所なので第三者委員会についてもバイアスをかけることが可能だ。実際に、バイアスがかかる、かからないはともかく、形式的にでもそういうことが疑われる状況があること自体問題ではないのか。見解を伺う。

エ 以下、安慶田氏の件について平敷教育長への質問。

(ア) 安慶田氏の口きき疑惑について、1月18日の新聞報道後、県教委は18日と19日、平成27年度の教育庁幹部に電話調査を行い、全ての幹部が否定したと発表した。しかし、諸見里前教育長の提出文書には、「依頼などなかったとしてよろしいですか」、「はい、それでよい」とのやりとりが記載されている。このような聞き方だと事態收拾のための誘導的な聞き方ではなかったのか。

(イ) 1月18日の報道により教育庁旧幹部は各社の取材攻めにあったが、そのような中、「依頼などなかったとしてよろしいですか」と聞かれたら、「もうかかわりたくない」と思い「なかった」と回答してしまうのではないか。

(ウ) この1月18日、19日に回答した内容の秘密は守ることを約束し、旧幹部たちに最初から丁寧に面談していればよかったと思うが、なぜしなかったのか聞く。

(エ) 旧幹部への調査と教育庁内部での会議の結果、1月24日に平敷教育長は記者会見をし、「口ききがあった」という結論を発表したが、事前に知事へも相談をしたのか。

(オ) 安慶田氏は、21日の夕方、翁長知事に辞意を伝えたとおき、諸見里前教育長は21日の午前に教育庁に「真実を伝えたい」と言っている。21日午前の諸見里前教育長からの連絡をその日の夕方までに知事に伝えたか。

(カ) 1月24日に平敷教育長が発表した口ききの事実を認める結論に至った経緯について聞く。

(キ) 諸見里前教育長時代に、何度も人事介入や口ききも行われていたとすれば、平成28年度の平敷教育長に対しても同様の口ききはあったのではないかと問う。また、仮に明確な口ききの依頼や指示がなかったとしても、受け取った側が依頼されていると感じるような働きかけはあったのではないかと問う。

2 農林水産行政について

(1) 農林水産戦略品目(水産物)の拠点産地認定について

ア 拠点産地認定とは。

イ 拠点産地認定を受けるメリット。

ウ 認定要件。

エ 県内拠点産地認定件数と品目。

オ 那覇市は市魚「マグロ」を戦略品目として拠点産地認定の申請準備中だが、現状はどうか。

3 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成29年第3回沖縄県議会(定例会)

06月30日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	座波 一(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 南部東道路について</p> <p>(1) 現在までの進捗状況について</p> <p>ア 当初計画に対する進捗率及び執行状況と供用開始おくれの原因について</p> <p>イ 第4工区及び全区間の供用開始に向けた予定と実施計画を伺う。</p> <p>(2) 今後の取り組みについて</p> <p>ア 用地買収及び事業予算確保への取り組みについて</p> <p>イ 事業執行を加速化するための人員及び体制の強化について</p> <p>(3) 那覇自動車道直接乗り入れについて</p> <p>ア 技術的課題は何か及び工事費の概算について</p> <p>イ 費用対効果(B/C)の見通し及び関係機関との協議について</p> <p>2 MICE施設整備事業について</p> <p>(1) 進捗状況と財源計画を伺う。</p> <p>ア これまでの進捗における問題や課題点は何か。</p> <p>イ 一括交付金にかわる財源対策はあるか。</p> <p>ウ 入札説明書の停止条件と契約履行への努力責任について</p> <p>(2) 沖縄担当大臣及び内閣府との協議について</p> <p>ア 現在までに一括交付金の交付要件が成立していない理由(用地、事業費)について</p> <p>イ 事業計画に対する指摘事項は何か。</p> <p>ウ 指摘事項に対する協議内容と県の取り組み状況について</p> <p>(3) 知事の取り組みについて</p> <p>ア この事業の必要性和達成への決意を改めて伺う。</p> <p>イ なぜ東浜マリンタウン地区を選定したか。</p> <p>ウ 地元の熱意をどう受けとめているか。</p> <p>エ 県民世論の喚起と2町2村によるサンライズ協議会の拡大について</p> <p>3 県職員の組合活動と沖縄県関係職員連合労働組合(県職連合)との関係について</p> <p>(1) 県職労と県職連合の関係について</p> <p>ア 県職連合は労働組合か職員団体か(労組法2条、地公法52条)。</p> <p>イ 県職連合における一般職員の活動は地公法(36条、58条)上問題ないか。</p> <p>ウ 県職連合は労組活動と政治的活動の二面性があるが県当局は把握しているか。</p> <p>エ 県職員が県職連合のもと、政治集会、反対闘争に参加への県当局の見解を求める。</p> <p>(2) 行政財産使用許可について伺う。</p> <p>ア 県職連合に対し、県庁14階を減免措置で貸与している理由は何か。</p> <p>イ 県職員退職者組合が14階を事務所として登録しているが県当局は許可したか。</p> <p>(3) 県職員の組合費天引きについて</p>			

ア 組合費の天引きを県職連合から県職労へ変更した理由を改めて確認する。

イ 平成29年2月まで県職連合で天引きした処理手続の根拠は何か。

4 知事の政治姿勢について

(1) 差しとめ訴訟について

ア 埋立承認撤回を必ずやると明言したが、なぜ差しとめ訴訟なのか。

イ 提訴に必要な法律上の争訟といえるのか、行政上の義務履行要求ではないか。

ウ この訴訟で沖縄県はどのような財産上の権利及び利益を守ろうとしているのか。

(2) 撤回必至発言について

ア 撤回をする明確な理由を伺う。

イ 知事は民意を盾にしていると思うが、即時撤回ができないのは民意だけでは不十分なのか。

5 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成29年第3回沖縄県議会(定例会)

06月30日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	砂川 利勝(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 尖閣諸島の天気予報について (1) 日本固有の領土であり石垣市の行政区域の尖閣諸島について、漁民の安心と安全を守るためにも天気予報を新たに追加発表すべきと考えておりますが、県当局のお考えをお示し願いたい。</p> <p>2 畜産行政について (1) 離島からの家畜の輸送体制について (2) 口蹄疫対策について (3) ヤギの専門家育成について</p> <p>3 竹富町の光ファイバー敷設について (1) 竹富町の光ファイバー敷設事業について</p> <p>4 竹富町上原港のしゅんせつについて (1) 現状と今後の対策について</p> <p>5 八重山地域における公共工事発注について (1) 現状と今後の方針について</p> <p>6 県立八重山病院について (1) 医療機器購入について</p> <p>7 水産部門の専門職について</p> <p>8 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成29年第3回沖縄県議会(定例会)

06月30日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	中川 京貴(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 米軍基地問題について</p> <p>(1) 嘉手納基地でのパラシュート降下訓練について</p> <p>ア 米軍は嘉手納飛行場において、5月10日にパラシュート降下訓練を実施した。パラシュート降下訓練は、平成8年の日米特別行動委員会(SACO)の最終報告で伊江島補助飛行場への移転が合意されている。しかし合意後も周辺住民の反対の声を無視し降下訓練が実施されたが、県の取り組みについて伺いたい。</p> <p>(2) 嘉手納基地旧海軍駐機場における航空機使用について、三連協初め地元住民からの強い反発の声が上がり、旧駐機場の使用禁止が求められているが、県の対応について伺いたい。</p> <p>(3) 翁長知事は県の最高責任者として、たび重なる米軍人・軍属による事件・事故、基地問題解決にどのような形で取り組むのか伺いたい。</p> <p>2 犬・猫殺処分について</p> <p>(1) 犬・猫殺処分ゼロにするための課題と今後の取り組み、目標数値を伺いたい。</p> <p>(2) 平成26・27・28年度の犬・猫の収容された頭数と殺処分された頭数。また、沖縄県殺処分頭数は全国的にはどうか。</p> <p>(3) 平成26・27・28年の譲渡会の回数と譲渡頭数について</p> <p>(4) 犬・猫殺処分ゼロ愛護団体との連携による県営保護シェルターの設置について</p> <p>3 土木行政について</p> <p>(1) 北谷町砂辺浜川地域(嘉手納基地第1ゲート前・旧コザ信用金庫北谷支店前)の国道58号の出口は、朝夕の渋滞はもとより日中も大きな交通渋滞があり、地元地域から問題解決の要請を受け、私は平成24年7月、平成27年6月に一般質問で取り上げて地元住民と防衛局に要請行動した。県はこれまで問題解決のためにどのような取り組みをしてきたか。</p> <p>(2) 比謝川下流堰が建設された経緯について伺いたい。</p> <p>(3) 比謝川下流堰撤去に伴う要請について、関係者や住民との協議を十分に行い、河川環境に最大限配慮し環境影響調査を実施するとともに、その結果を反映した整備について伺いたい。</p> <p>(4) 嘉手納漁港内及び航路など、河川に堆積する土砂を県の責任において定期的にしゅんせつすることについて伺いたい。</p> <p>4 観光振興について</p> <p>(1) 那覇空港滑走路増設事業総予算と現在の進捗状況について伺いたい。</p> <p>(2) 平成33年度に向けた入域観光客数の新たな目標フレーム設定の裏づけとして、クルーズ船客の大幅な増加を挙げているが、現状は大型クルーズ船寄港への対応や受け入れ体制の未整備が指摘されている。今後のハードやソフト面での対策について</p> <p>(3) 那覇市と沖縄総合事務局で実施した「貸切バス路上混雑対策実証実験事業」と県で委託した「レンタカー観光利用実態調査」について、その調査結果とその後の対策について県としての見解を伺いたい。</p> <p>(4) 国は「沖縄観光アクションプラン戦略2017」を発表した。その内容と沖縄観光のさらなる底上げを図るため、県の考えを伺いたい。</p>			

- (5) 那覇空港滑走路増設に伴い1000万人観光立県・1兆円観光産業を目指していたが、1000万人観光から1200万人への引き上げに伴い国道・県道の交通渋滞が予測されるが、その対策と課題について私が提案した2次交通による高速船の活用、那覇から北谷まで15分、名護まで30分、本部まで40分(海上タクシー)についての検討はしたか。
- 5 那覇軍港(那覇港湾施設)の市街化について
- (1) 那覇軍港は復帰前、現在の那覇空港や航空自衛隊那覇基地、陸上自衛隊那覇駐屯地と軍港が「同一団の基地」でしたが、那覇空港や航空自衛隊那覇基地、陸上自衛隊那覇駐屯地は市街化調整区域で、那覇軍港だけが市街化区域・準工業地域と仮定している状態について、県の認職について伺いたい。
- (2) 那覇軍港の市街化区域・準工業地域指定によって固定資産税に影響した問題は、翁長知事が那覇市長時代からの問題であり、県は那覇市と話し合いをして709名の那覇軍港地主の要請に応えるように平成28年2月一般質問を行ったが、その後の取り組みについて伺いたい。
- (3) 那覇軍港について、優先的に市街化区域として定める区域の設定基準について
- (4) 復帰当時の県の市街化認定当時、那覇軍港は上記基準に該当したか。
- 6 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成29年第3回沖縄県議会(定例会)

06月30日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	又吉 清義(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 西普天間住宅地区跡地利用についての県の取り組みについて</p> <p>(1) 普天間高校移転に関する県の姿勢と今後の対応方について伺う。</p> <p>(2) 琉大附属病院の移設進捗状況について伺う。</p> <p>2 基地行政について</p> <p>(1) 辺野古埋め立てについての「訴えの提起について」</p> <p>ア 補正予算の517万円の根拠について</p> <p>イ 岩礁破碎について</p> <p>ウ 那覇空港第2滑走路埋め立てと、辺野古埋め立ての漁業権問題について</p> <p>エ 一日も早い危険性の除去に向けた、現実的な県の取り組み方はどのような政策か。</p> <p>3 観光立県を目指した県の環境整備について</p> <p>(1) 安全にリゾートを楽しむための各ビーチへの避雷針対策について</p> <p>(2) 世界から訪れる観光客をしっかりとお世話し、県民の経済活性化に向けた取り組みの整備について</p> <p>4 学童保育について</p> <p>(1) 沖縄県の実態はどのようになっているか。</p> <p>(2) 県の支援策等や今後の取り組みについて伺う。</p> <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成29年第3回沖縄県議会(定例会)

06月30日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	花城 大輔(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 教育行政について</p> <p>(1) 給付型奨学金について</p> <p>ア 現在の状況について伺います。</p> <p>イ 今後の計画について伺います。</p> <p>(2) 泡瀬特別支援学校について</p> <p>ア 防災・減災の認識を伺います。</p> <p>イ 今後の計画について伺います。</p> <p>2 海洋資源開発について</p> <p>(1) 海底資源開発について伺います。</p> <p>(2) その他の計画について伺います。</p> <p>3 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 辺野古工事差し止め訴訟について伺います。</p> <p>(2) 知事の政治目的について伺います。</p> <p>4 社会資本整備について</p> <p>(1) 中城湾港の活用について伺います。</p> <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			